opusdei.org

愛のために働く

フランシスコ教皇の新しい回 勅『ラウダート・シ』(「主 を賛美せよ」の意)の呼びか けに応え、オプス・デイ属人 区長は、40周年を迎える聖ホ セマリアの記念日に関する書 簡を発表しました。

2015/06/28

愛のために働く

聖ホセマリアの帰天40周年にあたっ て フランシスコ教皇の新しい回勅は、 聖書の初めの数ページと関連して創 ます。神は人間を男と女として創 され、「エデンの園に住まわれて がそこを耕し、守るようにされてな 創世記2,15)。その後、すってか見 生き物を「人のところう呼ぶこれをどうがそれぞれをどう呼ぶこれれた」(創世記2,19)。こすれた おられた」(創世記2,19)。これは人間を信頼し、神が被造界に授させる はな可能性を、人間が発展させるよう任されたのでした。

教皇が指摘されているように、 神が人間をエデンの園に住まわせたのは、すでに存在していた ものを守るためだけではなく、 耕し働くことで実りをもたらす ためでもあったのです。

わたしたち一人ひとりは、造られた 世界の守り人、世話人なのです。教 皇が指摘されているように、神が人間をエデンの園に住まわせたの園に住まわせを守在していたものをことでではなく、耕し働ってといる。「被造物が直切ったのをとびでがある。ででも、かせるがが加えるな方ととででももものが事物に与えたではない。人守なは、神が事物に手伝うことをはいるからです」(『ラウダート・シ』124)。

人類が創造主の計画を受け入れて努力するなら、人間のすべての気高い働きは、世界の発展と人間の尊厳を 促進させることになるでしょう。 鍵となるのは、人々に仕える望みをもち、神と隣人への愛ゆえ に仕事をよりよく果たすことに あります。

今年は聖ホセマリア・エスクリバー・デ・バラゲルの帰天40周年にあたります。オプス・デイ創立者であり司祭であった彼は、愛ゆえに果たされた仕事の福音的価値につい

て、全世界に向かって宣べ伝えました。

「愛する能力は人間の特権であっ て、この能力のおかげで、私たちは はかないもの過ぎ去るものを超越す ることができます」と、聖ホセマリ アは『知識の香』の中で述べていま す。「それゆえ、私たちは物を作っ たり、何かをするだけで満足しては ならないのです。仕事は愛から生ま れ、愛を表わし、愛に向かうはずだ からです。単に自然の驚異の中のみ ならず、仕事の体験や努力の中にも 神を見出さねばなりません。そうす れば、仕事は祈りとなり、感謝の行 為ともなります。私たちは神によっ て地上に置かれ、神から愛され、神 の約束の世継ぎであることを知って いるのですから | と続けて述べてい ます。

仕事は、何を目指すかによって、人間に尊厳を与えることも、それを破

壊することもできるのです。また、 自然を守ることも歪めることもでき るのです。さらに、隣人に奉仕す る、あるいは、そうしない機会とも なり得るのです。

「単に自然の驚異の中のみならず、仕事の体験や努力の中にも神を見出さねばなりません。」 (聖ホセマリア)

失業や低収入に苦しむ人々は、仕事が人間に尊厳を与えてくれることをよく理解しています。それゆえ、キリスト者は彼らのために絶えず祈り続けるのです。教皇が指摘されているように、貧しさや失業に苦しむ人々に金銭を与えるという援助は、

「緊急事態を回避するための一時的な解決と考えるべきです」(『ラウダート・シ』128)。また、この回勅の中で、「目先の大きな利益を得るために、人々のために投資するこ

とをやめることは、社会にとっても 非常に悪い商売です」(同)と訴え ておられます。

失業や低収入に苦しむ人々は、 仕事が人間に尊厳を与えてくれ ることをよく理解しています。 それゆえ、キリスト者は彼らの ために絶えず祈り続けるので す。

仕事が神への愛ゆえに果たされるとき、仕事は現代の人々に、地上と永遠の幸福へと展望を拓くものとなるのです。

ハビエル・エチェバリーア

オプス・デイ属人区長

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/aino-tameni-hataraku/ (2025/11/08)